

1. 公募テーマの概要

(1) B-DASH プロジェクト

実規模実証

公募テーマ	概要
① ICT を活用した下水道施設 広域管理システム	下水道施設に設置された複数の監視・制御システム等を従来の方法に比べて大規模な改修を行うことなく統合できる革新的な広域監視・制御技術について、実規模レベルの施設を設置して実証研究を行う。
② AI を活用した水処理運転操 作の最適化支援技術	AI 技術を活用して、運転データや画像等から下水処理場の対応判断や運転操作等のガイダンスを可能とし、維持管理コストを削減できる技術について、実規模レベルの施設を設置して実証研究を行う。
③ 分流式下水道の雨天時浸 入水量予測及び雨天時運転 支援技術	AI 技術等を活用して、流入水量予測等から下水処理場の対応判断や運転操作等のガイダンスを可能とし、雨天時浸入水等による流量変動に対し、下水処理場設備の水没・浸水や汚泥流出リスクを削減するポンプ運転操作の効率化などの水処理技術について、実規模レベルの施設を設置して実証研究を行う。

FS 調査

公募テーマ	概要・ねらい
④ 下水処理場の土木・建築 構造物の劣化状態を効率的 に点検・調査する技術	下水処理場等の土木・建築構造物の状態を効率的に点検・調査することでストックマネジメント計画や維持管理計画に活用できる技術の開発を行う。
⑤ 下水汚泥からのリン回 収・利用技術	配管閉塞等の原因となるリンについて、消化汚泥または脱水ろ液から、低コストかつ高効率に除去・回収する技術の開発を行う。
⑥ 悪条件下の下水道管路施 設の点検・調査技術	悪条件下の下水道管路施設の状態を効率的に点検・調査する技術の開発を行う。

(2) 下水道応用研究

公募テーマ	概要・ねらい
① 小規模処理場における省 エネ型水処理技術	健全な下水道事業経営に寄与する、これまでの水処理システムとは異なる省エネ化が可能な新たな下水処理技術について研究を行う。
② 地域資源循環に資する下 水道資源を活用した創エ ネルギー技術	下水道資源を有効に利用することで、農林水産物の生産を可能とする技術について研究を行う。
③ 施設の老朽化状態を把 握するための IoT 活用モ ニタリング技術	情報通信技術 (ICT) を下水道を活用し、予防保全の観点から、施設の老朽化状態を効率的な把握する技術について研究を行う。

④各種下水道劣化対策技術の適用性評価手法	耐硫酸を目的とした防食技術において、下水中に含まれる有機物の発酵により生成する有機酸の対策手法について研究を行う。
⑤下水道の水質管理による健康リスクの把握技術	効率的に化学物質による生態影響評価が可能な技術や、汎用性が高く簡易に病原微生物測定が可能な技術について研究を行う。

2. 説明書の交付

(1) B-DASHプロジェクト

期間：①, ②, ③ 公募開始日から令和3年2月15日（月）12時まで

④, ⑤, ⑥ 公募開始日から令和3年2月22日（月）12時まで

詳細：下水道部 HP を御参照ください。

URL https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000703.html

(2) 下水道応用研究

期間：公募開始日から令和3年2月22日（月）12時まで

詳細：下水道部 HP を御参照ください。

URL : https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000704.html

3. 説明会の開催

「新型コロナウイルス感染拡大防止」のため説明会は開催しません。

説明書に関する質問等は公募資料に従い、メールまたはファックスにてお願いします。

4. 応募書類の提出期限

B-DASH プロジェクト ①, ②, ③ : 令和3年2月15日（月）12時 必着

④, ⑤, ⑥ : 令和3年2月22日（月）12時 必着

下水道応用研究 ① ~ ⑤ : 令和3年2月22日（月）12時 必着

5. 審査方法

応募案件の審査等の透明性、公平性を確保するため、有識者委員会において審査を行います。

有識者委員会において、あらかじめ定めた審査基準に基づき、応募書類の審査を行います。

6. 事業実施期間（予定）

B-DASH プロジェクト：契約締結の翌日から令和4年3月31日まで

下水道応用研究 : 契約締結の翌日から令和4年3月18日まで